

各団体代表者(新極真会は支部長道場長)は必ずご確認下さい

カラテドリームフェスティバル2016 国際大会 出場選手募集要項

1. 大会名: 東日本大震災復興支援チャリティー/骨髄バンクチャリティー オープントーナメントカラテドリームフェスティバル2016 国際大会
2. 開催日: 平成28年8月6日(土)・7日(日)
3. 会場: 東京体育館(東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1)

【JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」、都営大江戸線「国立競技場駅」(A4出口)より徒歩5分 ※当日は駐車場の用意はありません】

4. 主催: カラテドリームフェスティバル実行委員会/NPO法人全世界空手道連盟新極真会
5. 後援: 公益財団法人日本骨髄バンク/厚生労働省/国土交通省/スポーツ庁/東京都/ジェイ・スポーツ/その他(予定)
6. 入場料: 無料
7. 応募資格: 幼年5才以上で空手修行している健康な男女(女子は大会時に妊娠していないこと)。
8. 階級: 全128階級(学年別、年代別、種目別、男女別、体重別、詳細は14階級表を参照)
9. 試合形式: カラテドリームフェスティバル試合規約(主催者公式サイト参照)に準じる組手競技および型競技
10. 申込方法: 所属団体一括方式【申込選手の所属団体(新極真会の場合は各支部道場単位、分支部不可)で一括申込]にてお申し込みください。

なお、お申し込みの際は団体代表者様からの①エクセルデータのメール送付と②申込書の送付の両方が必要となります。下記をご確認ください。

①エクセルデータをメールにて送付	選手情報エクセルデータと団体申込書エクセルデータを主催者公式サイトよりダウンロードし、必要事項を入力の上、 団体一括にてメール送付(件名に【DF2016】〇〇〇(団体名・支部道場名と記載のこと)してください。 送付先メールアドレス: office@shinkyokushinkai.co.jp
②出場申込書を郵送(宅配便)にて送付	出場申込書(兼誓約書、団体型選手は別添)、学生証コピー(全日本学生選手権の出場者のみ)を下記住所まで団体一括にて郵送または宅配便にてお送りください。なお、記載事項の不備がないかを必ずご確認ください。 送付先住所: 〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-20 新小川町ビル2F カラテドリームフェスティバル2016 国際大会事務局

11. 出場料: 出場料は下記の通りです。団体代表者が出場選手分を一括して申込締切までに振込をして下さい。

- ①各全日本選手権の組手、または個人型のどちらか一方に出場……………10,800円
- ②各全日本選手権の組手と個人型の両方に出場……………15,120円
- ③全日本型競技選手権(団体型)に出場……………9,720円(1チームにつき)
- ④新極真カラテ全国新人戦のみ出場……………6,480円
- ⑤各全日本選手権の個人型と新極真カラテ全国新人戦の両方に出場……………13,340円

12. 申込締切: 平成28年5月25日(水)大会事務局必着 (出場料も締め切りまでにお振り込みください)

■出場料振込口座■

三井住友銀行 飯田橋支店(管) 6905904 カラテドリームフェスティバル実行委員会 代表 緑健児

※団体代表者が申込選手分を一括してお振込ください。選手個人が振り込まないようご注意ください

※フリー参加(所属団体のなし)の出場は認められませんので、必ず流派名団体名をご記入ください。尚、提出書類等の郵送中・配達中の紛失に関して一切責任を負いません。

必ず提出書類の写しを自身で保管して下さい。一旦納入された出場料はいかなる場合も返却致しませんのでご了承ください(除:主催者判断でお申し込みをお断りする場合)。

13. 大会日程: 詳細はゼッケン送付時にご案内します(時刻は予定)。

8月6日 各全日本選手権(幼年～高校生、型部門)、全日本シニア空手道選手権、新極真カラテ全国新人戦、及び各軽量級・中量級計量(重量級の計量は行いません)

9:00 開場

10:00 開会式/型部門試合開始(団体型終了後、個人型試合開始)

13:30 初日組手部門計量受付(全日本シニア空手道選手権の整量級のみ)→14:00まで

14:00 型部門終了/表彰式

14:30 組手部門試合開始(全日本シニア空手道選手権大会、新人戦)

16:00 計量開始(小学2～6年生男子軽・中量級、小学5～6年生女子軽量級、中高校生軽量級・中量級、学生軽量級・中量級)→19:00まで

19:30 組手部門終了/表彰式 新人戦は各コートにて表彰式(終了時刻は進行状況次第)

8月7日 各全日本選手権(幼年、小学生、中学生、高校生、学生)の組手部門

8:30 開場

9:30 開会式/試合開始/ 終了時刻は進行状況次第

14.階級表:

※()内の数字は階級番号です。

※各体重別階級の体重は昨年度大会の出場選手を参考に設定しております。開催年度ごとに体重区分を変更する可能性がありますので予めご了承ください。

※各型部門(団体型含む)は新極真会の会員のみ出場可能です(詳細は18.型競技概要を参照)。

①全日本幼年空手道選手権 2016

・組手部門

(1)幼年男女混合(5~6才) 2010/4/2~2012/4/1生

②全日本小学生空手道選手権 2016

・組手部門

(2)小学1年生男子			(3)小学1年生女子		
(4)小学2年生男子 軽量級(25kg未満)		(5)小学2年生男子 重量級(25kg以上)		(6)小学2年生女子	
(7)小学3年生男子 軽量級(28kg未満)		(8)小学3年生男子 重量級(28kg以上)		(9)小学3年生女子	
(10)小学4年生男子 軽量級(30kg未満)		(11)小学4年生男子 中量級(30kg以上35kg未満)		(12)小学4年生男子 重量級(35kg以上)	
(14)小学5年生男子 軽量級(33kg未満)		(15)小学5年生男子 中量級(33kg以上38kg未満)		(16)小学5年生男子 重量級(38kg以上)	
(17)小学5年生女子 軽量級(35kg未満)		(18)小学5年生女子 重量級(35kg以上)		(19)小学5年生男子 重量級(35kg以上)	
(20)小学6年生男子 中量級(36kg以上43kg未満)		(21)小学6年生男子 重量級(43kg以上)		(22)小学6年生女子 軽量級(40kg未満)	
(23)小学6年生女子 重量級(40kg以上)		(24)小学6年生男子 軽量級(36kg未満)		(25)小学6年生男子 中量級(36kg以上43kg未満)	

・型部門

(24)小学生男子低学年(小学1・2年生)	(25)小学生男子中学年(小学3・4年生)	(26)小学生男子高学年(小学5・6年生)
(27)小学生女子低学年(小学1・2年生)	(28)小学生女子中学年(小学3・4年生)	(29)小学生女子高学年(小学5・6年生)

③全日本中学生空手道選手権 2016

・組手部門

(30)中学1年生男子 軽量級(43kg未満)	(31)中学1年生男子 中量級(43kg以上50kg未満)	(32)中学1年生男子 重量級(50kg以上)	(33)中学1年生女子 軽量級(40kg未満)	(34)中学1年生女子 中量級(40kg以上45kg未満)	(35)中学1年生女子 重量級(45kg以上)
(36)中学2年生男子 軽量級(50kg未満)	(37)中学2年生男子 中量級(50kg以上55kg未満)	(38)中学2年生男子 重量級(55kg以上)	(39)中学2年生女子 軽量級(45kg未満)	(40)中学2年生女子 中量級(45kg以上50kg未満)	(41)中学2年生女子 重量級(50kg以上)
(42)中学3年生男子 軽量級(55kg未満)	(43)中学3年生男子 中量級(55kg以上60kg未満)	(44)中学3年生男子 重量級(60kg以上)	(45)中学3年生女子 軽量級(48kg未満)	(46)中学3年生女子 中量級(48kg以上55kg未満)	(47)中学3年生女子 重量級(55kg以上)

・型部門

(48)中学生男子	(49)中学生女子
-----------	-----------

④全日本高校生空手道選手権 2016

・組手部門

(50)高校1年生男子 軽量級(59kg未満)	(51)高校1年生男子 中量級(59kg以上65kg未満)	(52)高校1年生男子 重量級(65kg以上)	(53)高校1年生女子 軽量級(50kg未満)	(54)高校1年生女子 中量級(50kg以上55kg未満)	(55)高校1年生女子 重量級(55kg以上)
(56)高校2年生男子 軽量級(59kg未満)		(57)高校2年生男子 中量級(59kg以上65kg未満)		(58)高校2年生男子 重量級(65kg以上)	
(59)高校3年生男子 軽量級(63kg未満)		(60)高校3年生男子 中量級(63kg以上70kg未満)		(61)高校3年生男子 重量級(70kg以上)	
(62)高校2・3年生女子 軽量級(50kg未満)		(63)高校2・3年生女子 中量級(50kg以上55kg未満)		(64)高校2・3年生女子 重量級(55kg以上)	

・型部門

(65)高校生男子	(66)高校生女子
-----------	-----------

⑤全日本学生空手道選手権 2016

・組手部門

(67)男子 軽量級 (70kg未満)	(68)男子 中量級 (70kg以上80kg未満)	(69)男子 重量級 (80kg以上)
---------------------	---------------------------	---------------------

⑥全日本シニア空手道選手権 2016

・組手部門

(70)男子 30 才以上、35 才未満 軽量級(70 kg未満) '82/4/2~'87/4/1 生	(71)男子 30 才以上、35 才未満 重量級(70 kg以上) '82/4/2~'87/4/1 生
(72)男子 35 才以上、40 才未満 軽量級(70 kg未満) '77/4/2~'82/4/1 生	(73)男子 35 才以上、40 才未満 重量級(70 kg以上) '77/4/2~'82/4/1 生
(74)男子 40 才以上、45 才未満 軽量級(70 kg未満) '72/4/2~'77/4/1 生	(75)男子 40 才以上、45 才未満 重量級(70 kg以上) '72/4/2~'77/4/1 生
(76)男子 45 才以上、50 才未満 軽量級(70 kg未満) '67/4/2~'72/4/1 生	(77)男子 45 才以上、50 才未満 重量級(70 kg以上) '67/4/2~'72/4/1 生
(78)男子 50 才以上、55 才未満 軽量級(70 kg未満) '62/4/2~'67/4/1 生	(79)男子 50 才以上、55 才未満 重量級(70 kg以上) '62/4/2~'67/4/1 生
(80)男子 55 才以上、66 才未満 軽量級(70 kg未満) '51/4/2~'62/4/1 生	(81)男子 55 才以上、66 才未満 重量級(70 kg以上) '51/4/2~'62/4/1 生
(82)女子 19 才以上、25 才未満 軽量級(55 kg未満) '92/4/2~'98/4/1 生	(83)女子 19 才以上、25 才未満 重量級(55 kg以上) '92/4/2~'98/4/1 生
(84)女子 25 才以上、35 才未満 軽量級(55 kg未満) '82/4/2~'92/4/1 生	(85)女子 25 才以上、35 才未満 重量級(55 kg以上) '82/4/2~'92/4/1 生
(86)女子 35 才以上、45 才未満 軽量級(55 kg未満) '72/4/2~'82/4/1 生	(87)女子 35 才以上、45 才未満 重量級(55 kg以上) '72/4/2~'82/4/1 生
(88)女子 45 才以上、66 才未満 軽量級(55 kg未満) '51/4/2~'72/4/1 生	(89)女子 45 才以上、66 才未満 重量級(55 kg以上) '51/4/2~'72/4/1 生

・型部門

(90)男子 19 才以上、35 才未満 '82/4/2~'98/4/1 生	(91)女子 19 才以上、35 才未満 '82/4/2~'98/4/1 生
(92)男子 35 才以上 ~'82/4/1 生	(93)女子 35 才以上 ~'82/4/1 生

⑦全日本空手型競技選手権 2016

(94)団体

⑧新極真カラテ全国新人戦 2016 (新極真会の会員のみ出場可)

- (1)各階級は、帯別設定があります(出場する際は必ず申込時の帯を着用して下さい)。
 (2)過去にドリームカップの組手部門に出場した選手は出場できません。
 (3)各大会(初級クラスや交流大会含む)で一度でも優勝したことがある選手は出場できません。

・小学生(小学1・2年生:白帯~橙帯まで出場可能、小学3・4年生:白帯~青帯まで出場可能、小学5・6年生:白帯~黄帯まで出場可能)

(95)小学1年生男子	(96)小学1年生女子
(97)小学2年生男子	(98)小学2年生女子
(99)小学3年生男子	(100)小学3年生女子
(101)小学4年生男子	(102)小学4年生女子
(103)小学5年生男子	(104)小学5年生女子
(105)小学6年生男子	(106)小学6年生女子

・中学生(白帯~黄色帯まで出場可能)

(107)中学1年生男子	(108)中学1年生女子
(109)中学2年生男子	(110)中学2年生女子
(111)中学3年生男子	(112)中学3年生女子

・高校生(白帯~黄色帯まで出場可能)

(113)高校1年生男子	(114)高校1年生女子
(115)高校2年生男子	(116)高校2年生女子
(117)高校3年生男子	(118)高校3年生女子

・シニア(白帯~黄色帯まで出場可能)

(119)男子 19 才以上、30 才未満 '87/4/2~'98/4/1 生	(120)男子 30 才以上、35 才未満 '82/4/2~'87/4/1 生
(121)男子 35 才以上、40 才未満 '77/4/2~'82/4/1 生	(122)男子 40 才以上、45 才未満 '72/4/2~'77/4/1 生
(123)男子 45 才以上、50 才未満 '67/4/2~'72/4/1 生	(124)男子 50 才以上、55 才未満 '62/4/2~'67/4/1 生
(125)男子 55 才以上、60 才未満 '57/4/2~'62/4/1 生	
(126)女子 19 才以上、35 才未満 '82/4/2~'98/4/1 生	(127)女子 35 才以上、45 才未満 '72/4/2~'82/4/1 生
(128)女子 45 才以上、60 才未満 '57/4/2~'72/4/1 生	

15. 試合時間規定:各階級の試合時間(組手部門)を以下に規定する。

①各全日本選手権

階級	本戦	延長戦	最終延長戦
幼年	1分	1分	なし
小学生各階級	1分30秒	1分30秒	1分30秒
中学生各階級			
高校生各階級	2分	2分	2分
学生各階級	2分	2分	2分
シニア各階級(男子/女子)	1分30秒	1分30秒	なし

※本大会では体重判定及び試合判定はない。本戦、延長戦で勝敗が決しない場合は、最終延長を行う(マスト判定システム)。なお幼年、シニア各階級は延長戦にてマスト判定となる。

②新極真カラテ全国新人戦

階級	本戦	延長戦
小学生各階級	1分	1分
中学生各階級	1分30秒	1分30秒
高校生各階級	1分30秒	1分30秒
シニア男子(19才以上、30才未満)	1分30秒	1分30秒
シニア男子(30才以上~60才未満)	1分	1分
シニア女子各階級	1分	1分

※本大会では体重判定及び試合判定はない。本戦で勝敗が決しない場合は、延長戦を行う(マスト判定システム)。

16. 防具規定:各階級(組手部門)の着用防具を以下に規定する。

クラス/部位	頭部	脛と足甲	膝	拳	下腹部	胸部	赤帯/赤マーク	マウスピース/帯止め 心臓しんとう胸パッド
幼年男子	○	○	任意	○	○	×	○	任意
幼年女子	○	○	任意	○	任意	任意	○	任意
小学生男子(1-2年生)	○	○	任意	○	○	×	○	任意
小学生男子(3-6年生)	○	○	○	○	○	×	○	任意
小学生女子(1-2年生)	○	○	任意	○	任意	任意	○	任意
小学生女子(3-6年生)	○	○	○	○	任意	任意	○	任意
中学生男子各階級	○	○	○	○	○	×	○	任意
中学生女子各階級	○	○	○	○	○	○	○	任意
高校生男子各階級	○	○	○	○	○	×	○	任意
高校生女子各階級	○	○	○	○	○	○	○	任意
学生各階級	×	×	×	×	○	×	赤帯○/赤マーク×	任意
シニア各階級(男子)	○	○	○	○	○	×	○	任意
シニア各階級(女子)	○	○	○	○	○	○	○	任意

①○印は「着用義務が有り」の意、×は「着用を禁ずる」の意

②下腹部は通称ファールカップ(男子)及びアンダーガード(女子)を指す

③防具に関しては「[防具ガイドライン\(www.shinkyokushinkai.co.jp/bogu\)](http://www.shinkyokushinkai.co.jp/bogu)」を必ずご確認ください。規定外の防具、テーピング(スパイラルテープ含)は原則として認めません。なお、**テーピングは医師の診断書がある場合のみ認めます。テーピングの検印等は、大会当日の医師席にて行います。**

④防具はすべて**指定商品の白色のみ**が着用可能です(防具は紛失無きよう必ず記名し自己責任で管理して下さい)。

⑤**ヘッドガードと赤帯・赤マークの貸し出しは一切行いません。必ず各自で用意ください。**

⑥男子は道着+防具、女子は道着+白Tシャツ+防具となります。長髪の選手は髪が乱れないようにゴム等で結んで下さい。髪飾り(ヘアアクセサリ・ウィッグ・ヘアバンド等)は禁止します。また、化粧・マニキュア(つけまつめを含む)も禁止です。下腹部防具は道着スポンの内側に装着して下さい。

⑦**規定防具の不備等による試合への遅刻はいかなる理由があっても失格となります**(運営スタッフの指摘による買い替え等も含む)。なお、この**失格に伴う苦情は一切受け付けません。**

17. セーフティ・ルール:各全日本選手権(学生選手権除く)組手部門、新人戦には当ルールを採用します。

下記と合わせて試合規約の詳細も主催者公式サイトより必ずご確認ください。

①一本勝ち

- (1) 反則箇所を除く部分へ突き・蹴り・肘打ち等有効技を瞬間的に決め、相手選手がダウンした場合、または膝をついた場合(3秒以内に立ち上がっても一本)。
- (2) 足払い、下段廻し蹴りの合わせ技が見事に決まり、相手の体が宙に浮いて倒れた瞬間にタイミング良く下段突きを決めた場合。
- (3) 相手選手が3秒以上戦意を喪失したとき。
- (4) 「技有り」を2本取ったとき。

②技有り

- (1) 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等有効技を瞬間的に決め、そのダメージにより相手選手が大きく崩れた場合または一時的に動きが止まった場合。
- (2) 蹴り技がノーガード状態の上段にクリーンヒットした場合(但し、押しつけただけ、触っただけ、かすっただけの蹴りは無効)。
- (3) 足払い、下段廻し蹴りの合わせ技、及び前蹴り・廻し蹴り等の蹴り技が見事に決まり、相手の体が宙に浮いて倒れた場合。
- (4) 胴廻し回車蹴りなどの捨て身技をはずしてタイミング良く下段突きを決めた場合。
- (5) 相手選手が戦意を喪失したとき(3秒以内)。

18.型競技概要:

- ①参加制限(個人)・・・なし。但し新極真会の会員であること。
- ②参加制限(団体)・・・出場選手に段級位や年齢、性別等の制限はない(但し新極真会の会員であること)。チームは同一の支部道場に所属している選手で構成すること。なおチーム構成には、段級位や年齢、性別等による制限は設けない

③判定方法

- (1)主審を含めた5名の審判員でトーナメント方法にて行う
- (2)5名の審判員のうち3名以上の判断(旗)を有効とする。但し、引き分け判定はなしとする

④試合型

階級	小学1・2年生	小学3・4年生	小学5・6年生	中学生	高校生	シニア(19才～34才)	シニア(35才～)	団体
1・2回戦 指定型	太極3	平安1	平安3	撃塞小	突きの型	観空	撃塞大	征遠鎮
3・4回戦 指定型	平安1	平安2	平安5	突きの型	観空	十八	観空	十八
準決勝以降 選択型	平安1～3	平安2～4 安三	平安3～5 安三 撃塞小	自由 (除:太極)	自由 (除:太極)	自由 (除:太極)	自由 (除:太極)	自由 (除:太極)

※指定型・選択型ともに年度ごと競技委員会にて変更する

※出場人数により1・2回戦の指定型を1回戦のみ行い、3・4回戦の指定型を2回戦に行う場合がある

⑤試合方法(個人:1回戦～決勝戦まで)

- (1)主審は両選手の中央に立ち、「正面に礼」「主審に礼」「お互いゝに礼」と指示
- (2)礼を終えたら、白の選手は場外にて正座(足を崩しても良い)。赤の選手は自ら型の名称を宣言(指定型の場合も宣言)し型を行う。ただし「始め」「直れ」「休め」の発声は無しとする
- (3)赤の選手の型が終了したら、白の選手が試合場中央にて同様に型を行う。赤の選手は場外にて正座(足を崩しても良い)
- (4)両選手の型が終了したら、主審は両名を試合場中央にて正面を向かせて「判定を取ります」「判定」と審判の判断を求める
- (5)主審は勝者を決定し、「正面に礼」「主審に礼」「お互いゝに礼」と指示して選手を退場させる

⑥試合方法(団体:1回戦～決勝戦まで)

- (1)両チームは試合場正面を向き縦1列に整列する。主審は両チームの中央に立ち、「正面に礼」「主審に礼」「お互いゝに礼」と指示
- (2)礼を終えたら、白のチームは場外にて正座(足を崩しても良い)。赤のチームは試合場正面を頂点(頂角)とする三角形の各頂点部分の開始線に立ち、チームの代表選手が、「黙想(※型による)」、「型の名称」、「用意」、「始め」と号令をかけ型を行う。型が終了したらチームの代表選手が「直れ」、「休め」と号令をかけ不動立ちになり主審の指示を待つこと
- (3)赤のチームの型が終了したら、白のチームが試合場にて同様に型を行う。赤のチームは場外にて正座(足を崩しても良い)
- (4)両チームの型が終了したら、両チームは試合場正面を向き縦1列に整列する。主審は「判定を取ります」「判定」と審判の判断を求める
- (5)主審は勝者を決定し、「正面に礼」「主審に礼」「お互いゝに礼」と指示してチームを退場させる

⑦審判基準

(1)判定項目

- (a)正確性・・・立ち方、姿勢、目線、突き、受け、蹴り、攻撃部位の正確さ
- (b)安定感・・・重心移動、回転運動、運足、跳躍、伏臥のバランス
- (c)躍動感・・・身体の収縮、伸びやかな動きと躍動力
- (d)力の強弱・・・無駄な力を入れず切れ味鋭い技、極め技は爆発的な力強さ
- (e)技の緩急・・・スピード感、リズム感が単調にならず技に緩急をつける
- (f)呼吸の調整・・・激しい動き、ゆっくりした動き、それぞれの動作と呼吸を調和させ乱れない呼吸と烈迫の気合い
- (g)残心・・・技が極った後、型を納める際の敵の反撃に備える心の構え
- (h)同調(団体型)・・・3名の競技者の挙動、強弱、スピード感、リズム感に差異がなく、同調調和されている

(2)減点

- (a)挙動等の間違い
- (b)一時的な停止

(3)判定基準

- (a)減点1の場合、判定項目の優劣によって逆転の判定もあり得る
- (b)減点2の場合、相手に減点1が無い場合は判定負けとなる
- (c)両者とも減点が無い場合、判定項目の優劣で判定する

(4)失格

- (a)型の忘却、間違いにより継続できない場合失格となる

19.注意事項:

- ① 出場選手(団体代表者・保護者、セコンド含)は、主催者が設けた全ての規約や指示に従って行動して下さい。
- ② 未成年の申込者は必ず保護者に出場申込書類一式を読解してもらい内容を承の上で申込書にご記入下さい。
- ③ 未成年の出場選手は、大会当日に所属団体の代表者及び保護者による保護監督を受けて下さい。
- ④ 体重別各階級の軽量級・中量級選手は主催者指定の計量(体重計測)が必須です。この計量時に各階級の規定体重を超過した場合は失格です。全日本シニア空手道選手権の出場選手は大会初日(8月6日)13時30分より14時00分(予定)まで、また小学2～6年男子軽量級・中量級、小学5～6年生女子軽量級、中高生軽量級・中量級、学生軽量級・中量級出場選手は同日16～19時(共に会場内指定場所、所定時間内にお済ませ下さい)に計量を行います。※重量級の出場選手は体重測定を行いません。
- ⑤ 不慮の事故などで出場が不可能になった選手は、速やかに大会事務局に連絡して下さい。
- ⑥ 出場選手が正当な理由なく試合放棄した場合、以下の場合を除いて15万円の弁償金を支払う事になります。
(1) 医師の診察を受け、その結果試合続行不可能と判断された場合。
(2) 試合直前又は試合中に本人に関する不慮の事故が発生し、大会実行委員長より退場を許可された場合。
- ⑦ 各階級には年齢区分を設けています(20.年齢基準表を参照)。該当する階級にお申し込みください。階級(年齢区分)を越えての出場はできません。一方、各階級の中量級・または重量級は規定体重未満の選手も出場することができます。
- ⑧ 新人戦の試合の判定方法には、3審制(主審1名と副審2名による判定)を採用する場合がございます。ご了承ください。
- ⑨ 全日本シニア空手道選手権の出場申込者のうち、大会主催の全世界大会・W杯・全日本大会・全日本W大会・地方大会、及びそれに準じる選手権大会(他団体主催含)にて高戦績が認められる申込者には、参加者の競技力の著しい不均衡と安全確保の観点からお申し込みをお断りする場合がございます(主催者判断)。その場合、申込者には個別にご連絡を差し上げ、出場料をご返金します。
- ⑩ 階級の統合、分割、廃止がございます(主催者判断)。
- ⑪ 大会当日、試合開始時刻の管理は当該試合に出場する選手の責任で行って下さい。全試合の開始時刻に、当該選手が所定位置に不在の場合は理由の如何に関わらず失格となります。その際、主催者への苦情は一切受け付けません。
- ⑫ 大会当日は必ず健康保険証を持参して下さい。試合中に負傷または事故(重症・死亡・後遺症含)が生じた場合、主催者が加入している賠償保険の範囲内(死亡300万円・入院日額2,000円等の保険です。打撲や捻挫等での通院の治療費が出る保険ではありません。保険適用の申請は、大会終了後1週間以内に大会事務局に連絡すること。それ以降は受け付けません)で被災者への補償をしますが、その範囲外の責任は一切負いません。その場合に選手及びその保護者は、主催者や大会役員等の大会関係者、及び対戦相手等に対して一切の損害賠償や苦情申し立てをしないものとします。
- ⑬ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。出場選手の映像や画像(氏名や住所の一部等も含む)は、主催者が発行する広告・出版物、カタログ、ホームページ等に使用することがあります。また、各種メディアが取材する場合があります。映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承下さい。
- ⑭ 出場申込の際にお預かりした個人情報は主催者にて厳重に管理します。大会での連絡業務及び大会運営に必要な業務以外の目的で出場者に許可なく使用することは一切ございません。
- ⑮ 大会のトーナメント表は7月下旬に主催者公式サイトにて公開予定です。ゼッケンは7月下旬の送付を予定しています。この時、別途「出場案内書」をご案内しますので必ず内容をご確認下さい。
- ⑯ 主催者の判断によって、本大会に関する事前告知のない変更が生じる場合がございますのでご了承下さい。

20.年齢基準表:

①全日本選手権

階級	誕生始期	～	誕生終期	階級	誕生始期	～	誕生終期
幼年(年中/年長)	2010年4月2日	～	2012年4月1日生	学生男子	大学・大学院・短期大学・専門学校に在籍の男子		
小学1年生	2009年4月2日	～	2010年4月1日生	シニア男子30才以上35才未満	1982年4月2日	～	1987年4月1日生
小学2年生	2008年4月2日	～	2009年4月1日生	シニア男子35才以上40才未満	1977年4月2日	～	1982年4月1日生
小学3年生	2007年4月2日	～	2008年4月1日生	シニア男子40才以上45才未満	1972年4月2日	～	1977年4月1日生
小学4年生	2006年4月2日	～	2007年4月1日生	シニア男子45才以上50才未満	1967年4月2日	～	1972年4月1日生
小学5年生	2005年4月2日	～	2006年4月1日生	シニア男子50才以上55才未満	1962年4月2日	～	1967年4月1日生
小学6年生	2004年4月2日	～	2005年4月1日生	シニア男子55才以上66才未満	1951年4月2日	～	1962年4月1日生
中学1年生	2003年4月2日	～	2004年4月1日生	シニア女子19才以上25才未満	1992年4月2日	～	1998年4月1日生
中学2年生	2002年4月2日	～	2003年4月1日生	シニア女子25才以上35才未満	1982年4月2日	～	1992年4月1日生
中学3年生	2001年4月2日	～	2002年4月1日生	シニア女子35才以上45才未満	1972年4月2日	～	1982年4月1日生
高校1年生	2000年4月2日	～	2001年4月1日生	シニア女子45才以上66才未満	1951年4月2日	～	1972年4月1日生
高校2年生	1999年4月2日	～	2000年4月1日生	型一般19才以上35才未満	1982年4月2日	～	1998年4月1日生
高校3年生	1998年4月2日	～	1999年4月1日生	型一般35才以上		～	1982年4月1日生

②新人戦

階級	誕生始期	～	誕生終期	階級	誕生始期	～	誕生終期
小学1年生	2009年4月2日	～	2010年4月1日生	シニア男子19才以上30才未満	1987年4月2日	～	1998年4月1日生
小学2年生	2008年4月2日	～	2009年4月1日生	シニア男子30才以上35才未満	1982年4月2日	～	1987年4月1日生
小学3年生	2007年4月2日	～	2008年4月1日生	シニア男子35才以上40才未満	1977年4月2日	～	1982年4月1日生
小学4年生	2006年4月2日	～	2007年4月1日生	シニア男子40才以上45才未満	1972年4月2日	～	1977年4月1日生
小学5年生	2005年4月2日	～	2006年4月1日生	シニア男子45才以上50才未満	1967年4月2日	～	1972年4月1日生
小学6年生	2004年4月2日	～	2005年4月1日生	シニア男子50才以上55才未満	1962年4月2日	～	1967年4月1日生
中学1年生	2003年4月2日	～	2004年4月1日生	シニア男子55才以上60才未満	1957年4月2日	～	1962年4月1日生
中学2年生	2002年4月2日	～	2003年4月1日生	シニア女子19才以上35才未満	1982年4月2日	～	1998年4月1日生
中学3年生	2001年4月2日	～	2002年4月1日生	シニア女子35才以上45才未満	1972年4月2日	～	1982年4月1日生
高校1年生	2000年4月2日	～	2001年4月1日生	シニア女子45才以上60才未満	1957年4月2日	～	1972年4月1日生
高校2年生	1999年4月2日	～	2000年4月1日生				
高校3年生	1998年4月2日	～	1999年4月1日生				

21.西暦和暦早見表:

2012年: 平成24年	2011年: 平成23年	2010年: 平成22年	2009年: 平成21年	2008年: 平成20年	2007年: 平成19年
2006年: 平成18年	2005年: 平成17年	2004年: 平成16年	2003年: 平成15年	2002年: 平成14年	2001年: 平成13年
2000年: 平成12年	1999年: 平成11年	1998年: 平成10年	1997年: 平成9年	1996年: 平成8年	1995年: 平成7年
1994年: 平成6年	1993年: 平成5年	1992年: 平成4年	1991年: 平成3年	1990年: 平成2年	1989年: 平成1年/昭和64年
1988年: 昭和63年	1987年: 昭和62年	1986年: 昭和61年	1985年: 昭和60年	1984年: 昭和59年	1983年: 昭和58年
1982年: 昭和57年	1981年: 昭和56年	1980年: 昭和55年	1979年: 昭和54年	1978年: 昭和53年	1977年: 昭和52年
1976年: 昭和51年	1975年: 昭和50年	1974年: 昭和49年	1973年: 昭和48年	1972年: 昭和47年	1971年: 昭和46年
1970年: 昭和45年	1969年: 昭和44年	1968年: 昭和43年	1967年: 昭和42年	1966年: 昭和41年	1965年: 昭和40年
1964年: 昭和39年	1963年: 昭和38年	1962年: 昭和37年	1961年: 昭和36年	1960年: 昭和35年	1959年: 昭和34年
1958年: 昭和33年	1957年: 昭和32年	1956年: 昭和31年	1955年: 昭和30年	1954年: 昭和29年	1953年: 昭和28年
1952年: 昭和27年	1951年: 昭和26年				

■カラテドリームフェスティバル2016 国際大会事務局■

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-20 新小川町ビル2F

TEL : 03-3268-5671 FAX : 03-3268-5688 E-mail : office@shinkyokushinkai.co.jp

公式サイト : <http://www.shinkyokushinkai.co.jp>



カラテドリームフェスティバル2016 国際大会は、スポーツくじ助成(toto)の対象事業です。